

紀伊半島大水害 復旧・復興の現状と取組

平成26年6月更新版

奈良県紀伊半島大水害
復旧・復興推進本部

目 次

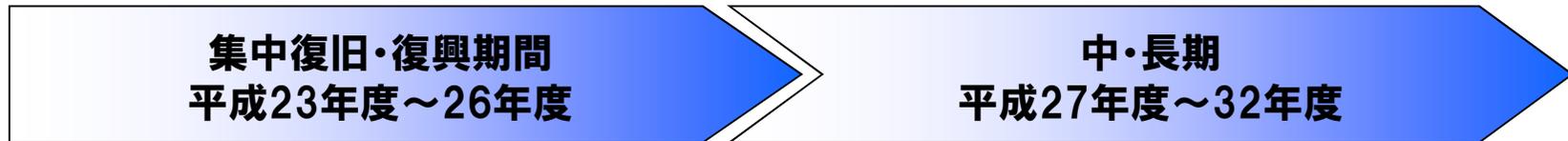
◆ 奈良県紀伊半島大水害復旧・復興計画の概要	P	1
◆ これまでの復旧・復興の主な動き	P	2
◆ 復旧・復興関係の予算概要	P	3
◆ 避難の状況	P	4
◆ 避難生活の早期解消に向けた取組の状況	P	6
◆ インフラ等の復旧状況	P	11
◆ 紀伊半島アンカールート	P	19
◆ 農林業関係の復旧状況	P	21
◆ 産業の復興状況	P	27
◆ 観光業の復興状況	P	29
◆ 福祉の充実	P	32
◆ 新しい集落づくり	P	33
◆ 安全・安心への備え	P	34
◆ 地域産業復興の取組	P	38
◆ ふるさと復興協力隊	P	39

◆奈良県紀伊半島大水害復旧・復興計画の概要

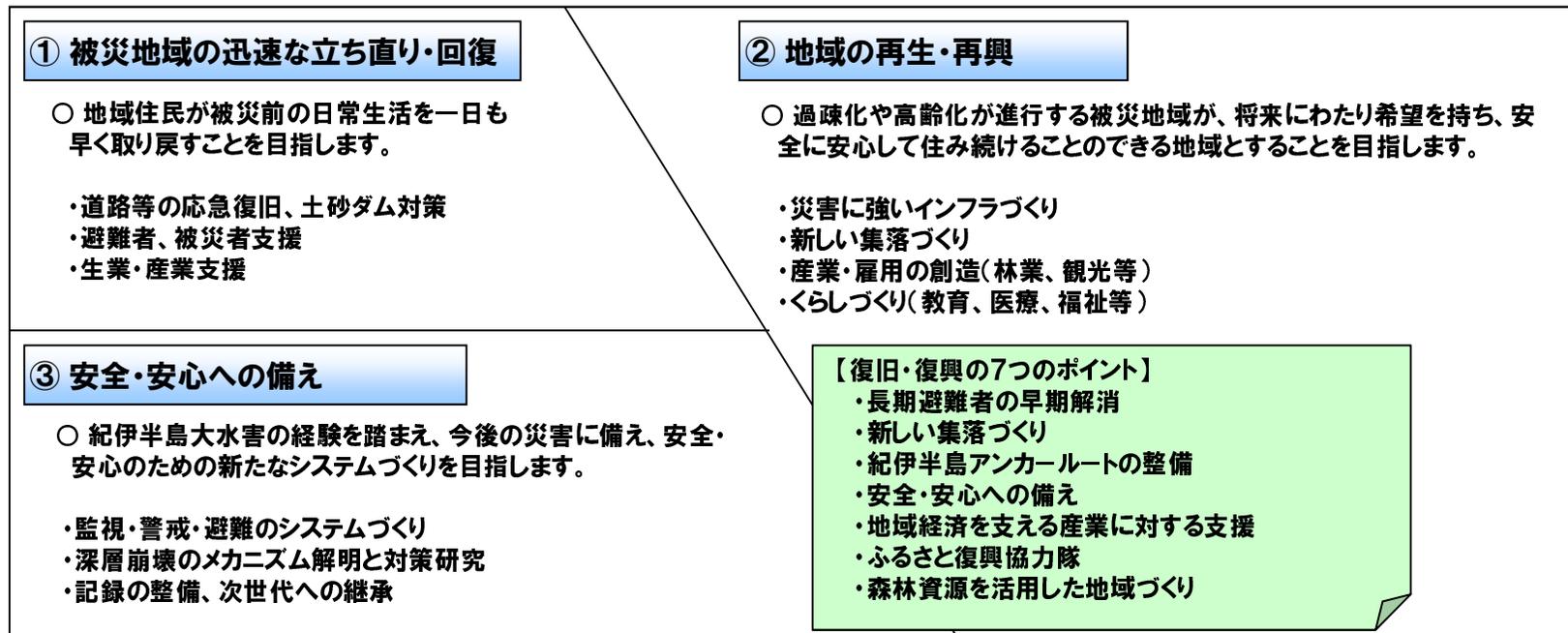
◆基本方針

百年の計に立ち、「災害に強く、希望の持てる」地域を目指す。

◆計画期間：平成23年度～32年度までの10年間



◆復旧・復興に向けた取組方針



◆これまでの復旧・復興の主な動き(計画策定以降)

平成24年

3月26日 第6回本部会議
・「復旧・復興計画」及び「同アクション・プラン」の確定について
・平成24年度以降の復旧・復興推進体制について
(本部会議に計画推進会議及び計画推進チーム(8チーム)を設置)

4月 1日 復旧・復興担当副知事を配置
・土木部に深層崩壊対策室設置
・南部農林振興事務所に「復旧・復興調整係」設置

4月24日 第23回紀伊半島知事会議

5月18日 「災害復旧・復興に係る国の法令等の改善について」の政府提案活動

6月 5日 第3回国・三県合同対策会議(東京)

6月11日 第7回本部会議

8月31日 避難者の早期帰宅に向けた知事・3市村長
記者会見

9月 6日 第1回復旧・復興シンポジウム

9月10日 第8回本部会議

11月26日 第9回本部会議

平成25年

1月28日 復旧・復興関係の3県(奈良県・和歌山県・三重県)合同政府提案活動

2月19日 第10回本部会議

6月13日 第11回本部会議

9月 2日 第12回本部会議

9月 5日 第2回復旧・復興シンポジウム
～インタープリバント2014プレイベント共催～

11月11日 第13回本部会議

11月23日～24日 なんゆう祭(南部地域産業復興推進大会)

平成26年

2月24日 第14回本部会議

4月30日 十津川村避難解消

6月11日 第15回本部会議

◆復旧・復興関係の予算概要

【平成23年度】

・予備費充用額	<u>62</u> 百万円
・知事専決処分	<u>6,905</u> 百万円
・9月補正予算	<u>7,288</u> 百万円
・11月補正予算	<u>18,644</u> 百万円
・2月補正予算	<u>501</u> 百万円

【平成24年度】

・当初予算額	<u>25,371</u> 百万円
・9月補正予算	<u>180</u> 百万円
・12月補正予算	<u>192</u> 百万円
・2月補正予算	<u>5,136</u> 百万円

【平成25年度】

・当初予算額	<u>21,981</u> 百万円
・6月補正予算	<u>434</u> 百万円
・9月補正予算	<u>7</u> 百万円

【平成26年度(平成25年度2月補正予算含む)】

・平成26年度当初予算	21,262	百万円
・平成25年度2月補正予算	1,842	百万円
合 計	23,104	百万円

※百万円単位で四捨五入しているため、数値の合計は一致しません。

① 被災地域の迅速な立ち直り・回復

○道路等の応急復旧、土砂ダム対策	4,697	百万円
○避難者・被災者支援	19	百万円
○生業・産業支援	64	百万円

② 地域の再生・再興

○災害に強いインフラづくり	17,146	百万円
○新しい集落づくり	290	百万円
○産業・雇用の創造(林業、観光等)	626	百万円
○くらしづくり(教育、医療、福祉等)	37	百万円

③ 安全・安心への備え

○監視・警戒・避難のシステムづくり、深層崩壊のメカニズム解明と対策研究	110	百万円
○記録の整備、次世代への継承	1	百万円

④ その他

○復旧・復興の推進	114	百万円
-----------	-----	-----

◆避難の状況

【これまでの取組成果】

被災直後（平成22年9月5日）938人 → 現在（平成26年5月30日）119人
 ※平成26年4月末で、十津川村の避難は全て解消
 ※平成26年度中には、すべての避難者が帰宅可能となる見込み

◇避難者数

※避難世帯数、避難者数には自主避難を含む

年月日		市町村数	避難所数 (箇所)	避難世帯数 (世帯)	避難者数 (人)
被災直後	H23年 9月5日 11:00	1市 1町 7村	52	359	938
前回報告	H26年 2月7日	1市 2村	0	75	163
現在の 状況	H26年 5月30日	1市 1村	0	57 (うち避難勧告・指示対象 51)	119 (うち避難勧告・指示対象 104)

◇被災直後からの増減
 世帯数 ▲302
 人数 ▲819
 ◇前回報告からの増減
 世帯数 ▲18
 人数 ▲44

◇応急仮設住宅の入居状況(平成26年5月30日現在)

市町村名	仮設 箇所数	26年 5月30日現在		前回(26/2/7)		増減	
		世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
五條市	2箇所	26	47	28	50	▲ 2	▲ 3
野迫川村	1箇所	25	58	25	58	0	0
十津川村	0箇所	0	0	15	36	▲ 15	▲ 36
合計		51	105	68	144	▲ 17	▲ 39

◇避難者の推移及び今後の帰宅等予定時期

【市村別の避難者数の推移】

	五條市		野迫川村		十津川村	
	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
23年9月(ピーク時※)	105	204	114	239	237	427
前回報告(26/2/7)	32	59	27	63	16	41
26年5月30日現在	30	56	27	63	0	0
(ピーク時との増減)	▲ 75	▲ 148	▲ 87	▲ 176	▲ 237	▲ 427
(前回との増減)	▲ 2	▲ 3	0	0	▲ 16	▲ 41

※ピーク時 五條市:9月4日 野迫川村9月4日 十津川村:9月5日

【今後の帰宅等が可能となる目処】

	五條市		野迫川村		十津川村		合計		避難者の推移見込	
	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
26年6月末まで	17	29	27	63	-	-	44	92	13	27
26年7月末まで	2	6	-	-	-	-	2	6	11	21
27年1月末まで	11	21	-	-	-	-	11	21	0	0

※【帰宅等が可能となる目処】は、避難の原因を解消するための対策工事（復興住宅の建築含む）が完了する予定の時期等を記載。
 なお、実際に避難者の帰宅が完了するのは、上記に引越期間等（概ね1～2ヶ月）を考慮した時期となる予定。

＜前回からの相違＞

- 五條市
- ・ 前回報告時は26年6月末とされていた2世帯が、**26年7月末**に変更（宇井地区の復興住宅の完成時期が7月末に変更のため、詳細は10ページ）
 - ・ 前回報告時は26年8月末とされていた11世帯が、**27年1月末**に変更（辻堂地区柳谷の堰堤工事の完成時期が27年1月末に変更のため、詳細は6ページ）

◆避難生活の早期解消に向けた取組の状況

◇主な地区の状況

【辻堂地区】 ※避難指示(一部避難勧告)発令中

避難世帯	避難者数
11世帯 (うち仮設 7世帯)	21人 (うち仮設13人)

(平成26年5月30日現在)

○避難生活の解消に向けた取組み状況

- ・市内中心部など地区外での生活を希望された避難者は、市営住宅等への転居が完了。
- ・自宅等へ戻ることを希望される避難者は、避難指示・避難勧告の解除後に帰宅可能となる（解除時期については、柳谷の堰堤工事の進捗状況により、五條市が判断）。
- ・県と五條市が共同して、地区の復興住環境整備に向けた検討を実施。
- ・地区全体の復興集落づくりに向けた取組について、県が専門技術的な支援のできるコンサルタントに委託し、支援を実施中。

○関連する工事等の状況

- ・鍛冶屋谷の堰堤工事は完成済み。
- ・柳谷は、平成26年3月に法面上の石の不安定化や崩落部の拡大が確認されたため、新たな対策工を実施中（柳谷の堰堤工事の完成は、平成27年1月末になる見込み）。
- ・国道168号（現道）の橋梁復旧は、平成26年8月末に完了の見込み。通行再開は、柳谷の堰堤工事の完成時期に合わせ、平成27年1月末になる見込み。

被災直後（柳谷）



平成23年9月撮影

台風18号被災後



平成25年9月撮影

現状



平成26年6月3日撮影

【宇井・清水・閉君地区】※避難指示・避難勧告は解除済み

○避難生活解消及び集落復興に向けた取り組み状況

- ・対策工事の進捗により、平成24年11月1日に避難勧告を解除済み。
- ・市内中心部など地区外での生活を希望された方は、市営住宅等へ転居済み。
- ・自宅へ戻ることを希望された方は、自宅に帰宅済み。
- ・自宅が被災し、大塔町内での生活を希望された避難者のため、小規模住宅地区改良事業として、復興住宅を市が建設中(天辻地区の復興住宅は完成済み、詳細はP10参照)。
- ・生活再建に必要な地区内道路や公共広場などの住環境整備も市が推進。
- ・市の復興住宅建設関連事業について、県が専門技術的な支援のできるコンサルタントに委託し、支援を実施中。

○関連する工事等の状況

- ・河川災害復旧事業(県)により熊野川の堆積土砂撤去を実施し、県道高野辻堂線が浸水しない程度まで復旧済み。
- ・直轄特定緊急砂防事業(国)により、大規模崩壊箇所の仮設護岸工は平成24年10月末に完成(平成25年9月の18号台風の影響により仮設護岸170mが被災したが補強のうえ復旧済み)。
現在、上部法面工を実施中。

避難世帯	避難者数
6世帯 (うち仮設6世帯)	15人 (うち仮設15人)

(平成26年5月30日現在)

被災直後



平成23年10月19日撮影

現状



平成26年5月29日撮影



平成26年5月29日撮影(斜面对策状況)

【飛養曾・引土地区】 ※避難勧告発令中

避難世帯	避難者数
12世帯 (うち仮設12世帯)	19人 (うち仮設18人)

(平成26年5月30日現在)

○避難生活の解消に向けた取り組み状況

- ・直轄治山事業（国）が進捗し、平成25年6月1日に避難指示から避難勧告へ変更。朝・昼・夕に通行可能な時間を設定し、一時帰宅は可能。
- ・市、県、国（国交省、林野庁）による「避難勧告等の解除に向けた検討会」を設置（平成25年8月6日）し、解除時期を検討中。（市道の通行が概ね確保された段階（平成26年6月末）で「避難勧告」の解除を検討する予定。）
- ・同地区の避難者の自宅は被災していないため、避難勧告が解除されれば自宅へ帰宅する予定。

○関連する工事等の状況

- ・直轄治山事業（国）により山腹の対策工事を実施中。（26年度工事は、7月末から着工予定。）
- ・市道川西線の災害復旧工事（市）は、着工済み。国直轄治山工事との工事間調整を行いながら工事を実施中（10月末完成見込み）。

前回



アンカー固定中(林野庁工事)
平成26年1月24日撮影



現状



市道敷地外へ作業用盤台設置済み
平成26年5月22日撮影



市道災害復旧工事(奥:法面工、手前:ブロック積工)
平成26年5月22日撮影

【野迫川村北股地区】 ※避難指示発令中

避難世帯	避難者数
27世帯 (うち仮設住宅25世帯)	63人 (うち仮設住宅58人)

(平成26年5月30日現在)

○避難生活解消及び集落復興に向けた取り組み状況

- ・自宅へ戻ることを希望された避難者は、避難指示解除後に帰宅可能となる予定（平成26年6月末までに解除の予定）。
- ・自宅が被災した避難者のため、小規模住宅地区改良事業として、復興住宅を村が建設中（詳細はP10）。
- ・生活再建に必要な地区内道路や公共広場などの住環境整備も村が推進。
- ・村の復興住宅建設関連事業について、県が専門技術的な支援のできるコンサルタントに委託し、支援を実施中。

○関連する工事等の状況

- ・直轄特定緊急砂防事業（国）により岩谷の対策工事を実施中。平成25年12月末に下流砂防堰堤工を完了。
引き続き、溪流保全工、上流砂防堰堤工等に着手予定。現在、上流堰堤および斜面排土を実施するために必要な工事用道路を施工。
- ・砂防事業（県）によりイデ谷は、平成26年5月末に堰堤工を完了。引き続き、山腹工等を実施。

被災直後（岩谷）



平成23年9月6日撮影



現状

■岩谷(国)工事の状況



平成26年4月10日撮影

■イデ谷(県)工事の状況



平成26年5月30日撮影

◇復興住宅の建設状況

【これまでの取組成果】

- ・住宅被害を受けた被災者向けの復興住宅を、五條市、野迫川村が各地区で建設中（県支援）
- ・平成26年4月末までに十津川村谷瀬地区、猿飼（高森）地区で計13戸完成

○五條市での建設状況

阪本（天辻）地区 4戸（平成26年5月末完成済み）

宇井地区 2戸（平成26年7月末完成予定）

※平成26年6月末→7月末に変更

<現在の建築状況>

基礎工事・上棟済み、造作工事中

<予定より遅延している理由>

人工地盤の施工について、地盤状況による設計変更に伴い、施工方法を見直したため、完成時期が遅延

○野迫川村での建設状況

北股地区 5戸（平成26年6月末完成予定）

<現在の建築状況>

基礎工事・上棟済み、造作・内装工事中

○十津川村での建設状況

平成26年4月末までに全て完成・入居済み

谷瀬地区 4戸

猿飼（高森）地区 9戸

【今後の取組予定】

- ・完成予定が平成26年6月～7月となる五條市、野迫川村の復興住宅について、早期完成に向けて引き続き支援



阪本（天辻）地区
（平成26年5月15日撮影）



宇井地区
（平成26年6月2日撮影）



北股地区
（平成26年5月30日撮影）



北股地区
（平成26年5月30日撮影）



谷瀬地区
（平成26年5月4日撮影）



猿飼（高森）地区
（平成26年5月4日撮影）

◆インフラ等の復旧状況

◇大規模崩壊への対策

【これまでの取組成果】

大規模崩壊対策が必要となった18箇所（県実施12箇所、国実施6箇所）については、全ての箇所で工事中（平成26年5月末現在）

○県による大規模崩壊対応12箇所

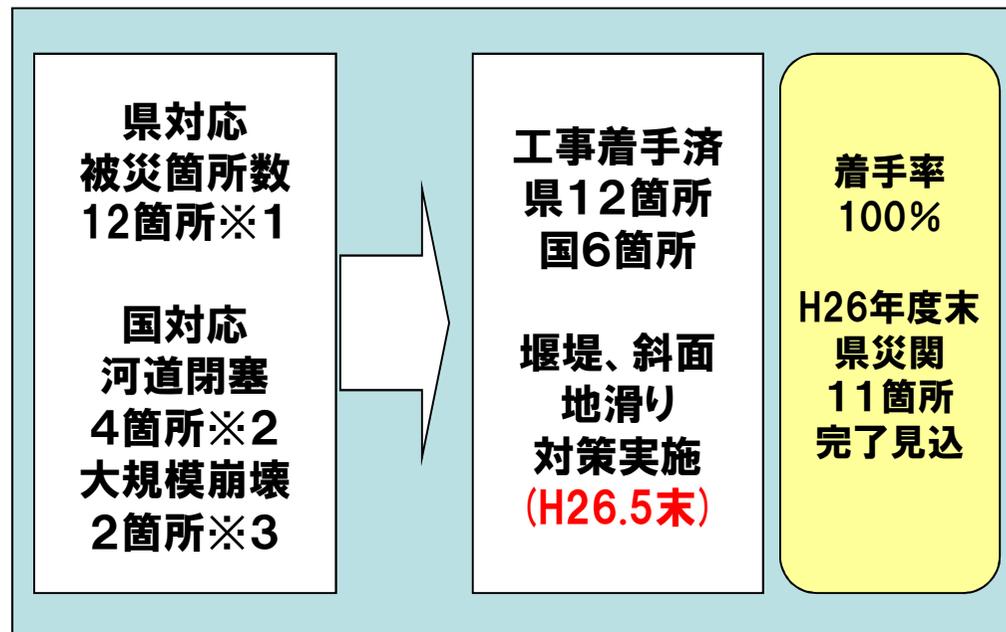
〔災害関連緊急事業：H26年度11箇所完了、H27年度1箇所完了〕

（※山腹工等は通常砂防事業で引き続き実施予定）

- * 1 五條市大塔町辻堂柳谷・鍛冶屋谷
御杖村土屋原
黒滝村赤滝、中戸
天川村広瀬
十津川村重里、小井、折立、
宇宮原、今西
東吉野村麦谷

○国による河道閉塞・大規模崩壊 対策6箇所：H28年度完了

- * 2 五條市大塔町赤谷
野迫川村北股
十津川村長殿、栗平
- * 3 五條市清水（宇井）
天川村坪内



【今後の取組予定】

- ・ 県実施の12箇所のうち、五條市辻堂柳谷を除く11箇所の工事を平成27年3月末までに完了させる予定
 - ・ 柳谷については、平成27年1月末に堰堤工を完了させ、その後山腹工を実施予定（27年度完成予定）
- ※国実施工事は、平成28年度の完了に向けて引き続き工事を実施

県による復旧・対策状況(大規模崩壊)

箇所名	主な工事内容	完成目標	H26年5月末までの進捗状況
五條市大塔町 辻堂柳谷	災関堰堤工 山腹工	27年度※	災関堰堤工の斜面崩壊対策工を実施
五條市大塔町 辻堂鍛冶屋谷	山腹工 現国道の復旧	26年度	災関堰堤工完成、現国道の復旧、山腹工を実施
御杖村土屋原	溪流保全工	26年度	災関堰堤工及び2号堰堤工完成、溪流保全工を実施
黒滝村赤滝	堰堤工	26年度	災関堰堤工完成、3号堰堤工を実施
黒滝村中戸	前庭保護工、溪流 保全工	26年度	災関堰堤工完成、前庭保護工を実施
天川村広瀬 (地すべり対策工事)	排水路工	26年度	地すべり対策工事完了
十津川村重里	前庭保護工、溪流 保全工、橋梁工	26年度	災関堰堤工完成、前庭保護工を実施
十津川村小井 (地すべり対策工事)	アンカー工	26年度	抑制工完成、アンカー工を実施
十津川村折立 (地すべり対策工事)	押さえ盛土工、ア ンカー工	26年度	抑制工完成、押さえ盛土工、アンカー工を実施
十津川村宇宮原 (地すべり対策工事)	押さえ盛土工	26年度	抑制工及びアンカー工完成、押さえ盛土工を実施
十津川村今西 (地すべり対策工事)	法面工	26年度	抑制工及びアンカー工完成、法面工を実施
東吉野村麦谷	堰堤工	26年度	災関堰堤工及び除石工完成、2号堰堤工を実施

※H27年1月末に堰堤工を完了させ、山腹工の完了はH27年度予定。



鍛冶屋谷 平成26年5月30日撮影



土屋原 平成26年5月30日撮影



赤滝 平成26年5月30日撮影

国による復旧状況

箇所名	完成目標	今後の予定工事	H26年度 工事実施内容	H25年度までの進捗状況	備考
赤谷(五條市大塔町)	28年度	砂防堰堤工、床固工群 等	砂防堰堤工	仮排水路工完成、砂防堰堤工着手	河道閉塞
清水[宇井](五條市大塔町)	28年度	法面工、護岸工 等	法面工	仮設護岸工完成、法面工着手	大規模斜面崩壊
北股(野迫川村)	28年度	砂防堰堤工、床固工群 等	砂防堰堤工、溪流保全工	仮排水路工完成、砂防堰堤工着手	河道閉塞
坪内(天川村)	28年度	法面工、河道拡幅、護岸工 等	法面工、河道拡幅	仮設護岸工完成、河道拡幅着手	大規模斜面崩壊
長殿(十津川村)	28年度	砂防堰堤工、水路工、排土工 等	砂防堰堤工	仮排水路工完成、砂防堰堤工着手	河道閉塞
栗平(十津川村)	28年度	砂防堰堤工、床固工群、排土工 等	床固工群	仮排水路工完成	河道閉塞

赤谷地区状況



平成26年5月29日撮影(堰堤設置状況)

長殿地区状況



平成26年5月30日撮影(堰堤設置状況)

栗平地区状況

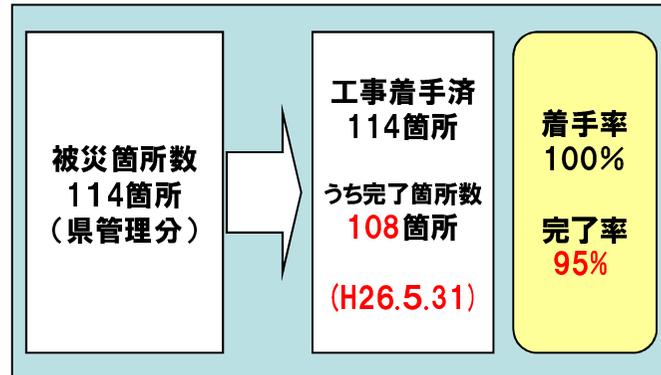


平成26年5月29日撮影(排水路状況)

◇河川・砂防の災害復旧事業

【これまでの取組成果】

河川・砂防（県管理）の災害復旧事業は、114箇所中108箇所完了（平成26年5月末現在）



【前回(2月)との比較】

工事着手済 114箇所 → 114箇所

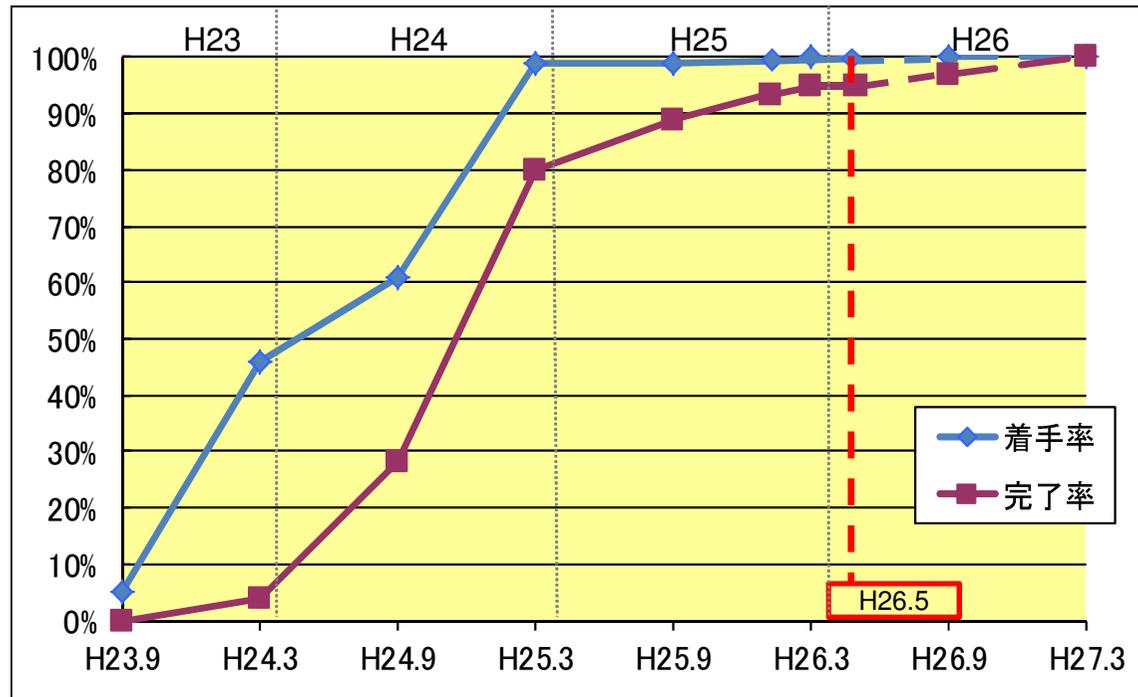
うち完了 105箇所 → **108箇所**
 前回以降の完了箇所

- ・小原川（五條市大塔町宇井）
- ・川原樋川（五條市大塔町清水）
- ・西川（十津川村西中）

着手率 100% → 100%

完了率 92% → **95%**

進捗状況(実績と今後の予定・見込み)



※ 平成26年度も継続する6箇所は、
 熊野川(十津川村宇宮原)護岸と堆積土砂2箇所、
 熊野川(十津川村七色)、熊野川(五條市大塔町宇井～十津川村長殿)、
 北山川(十津川村竹筒)、神納川(十津川村内野～杉清)

河川・砂防(市町村) 復旧対象:30箇所 →完了:30箇所(完了率100%)

【今後の取組予定】

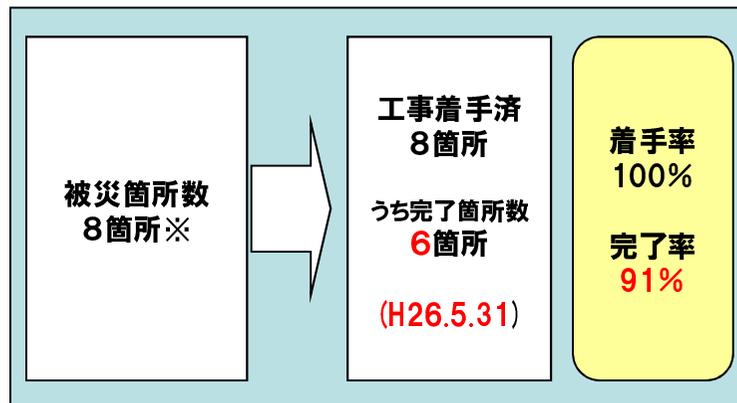
・台風18号の影響で平成26年度も継続することになった6箇所については、同年度中に完了させる予定

○河川堆積土砂の撤去

【これまでの取組成果】

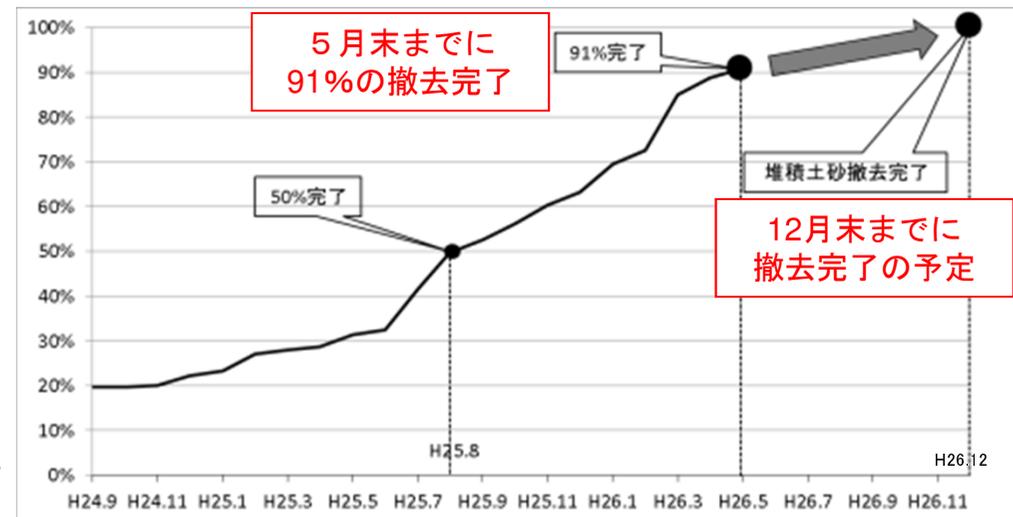
- ・被災8箇所のうち、**6箇所の撤去が完了**
- ・紀伊半島大水害により堆積した土砂（221万 m^3 ）のうち、**201万 m^3 （91%）**を撤去完了（平成26年5月末現在）

河道内の大規模な堆積 土砂の撤去（河川・砂防災害の内数）



※熊野川 天川村坪内、五條市大塔町宇井、十津川村宇宮原、野尻川原樋川 五條市大塔町清水
神納川 十津川村内野～杉清
山手川 十津川村山手
北山川 下北山村下池原

◆堆積土砂撤去土量進捗状況



残土処分地の受入れのための工事も実施中（小原川ほか3箇所）

【前回（2月）との比較】70%→91%土砂撤去完了

※2箇所完了（川原樋川（五條市大塔町清水）、熊野川（五條市大塔町宇井））

【今後の取組予定】

- ・2箇所（熊野川（十津川村宇宮原）、神納川（十津川村内野～杉清））20万 m^3 の撤去を、平成26年12月末までに完了させる予定

県による復旧・対策状況(河川災害)

河川名	箇所	主な工事内容	完成目標	H26年5月末までの進捗状況
熊野川	五條市 大塔町宇井	護岸工	26年度	掘削工、盛土工施工中
熊野川	十津川村 七色	護岸工	26年度	法覆護岸工施工中
北山川	十津川村 竹筒	護岸工	26年度	法覆護岸工施工中
熊野川	十津川村 宇宮原	護岸工	26年度	発注準備中(非出水期から着工予定)
熊野川	十津川村 宇宮原	河川堆積 土砂撤去	26年度	宇宮原地区堆積土砂90%撤去
神納川	十津川村 内野～杉清	河川堆積 土砂撤去	26年度	神納川堆積土砂56%撤去



熊野川 十津川村七色 H26.5.27撮影



熊野川 十津川村宇宮原 H26.5.9撮影

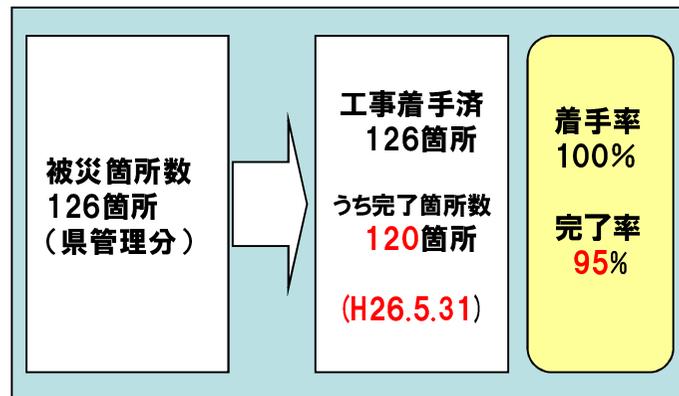


神納川 十津川村内野～杉清 H26.5.29撮影

◇道路の災害復旧事業

【これまでの取組成果】

- ・道路災害復旧事業（県）は、126箇所中120箇所です完了（平成26年5月末現在）
- ・災害による通行止めは4箇所（うち1箇所4t以下通行可）



【前回(2月)との比較】

工事着手済 126箇所 → 126箇所

うち完了 117箇所 → **120箇所**

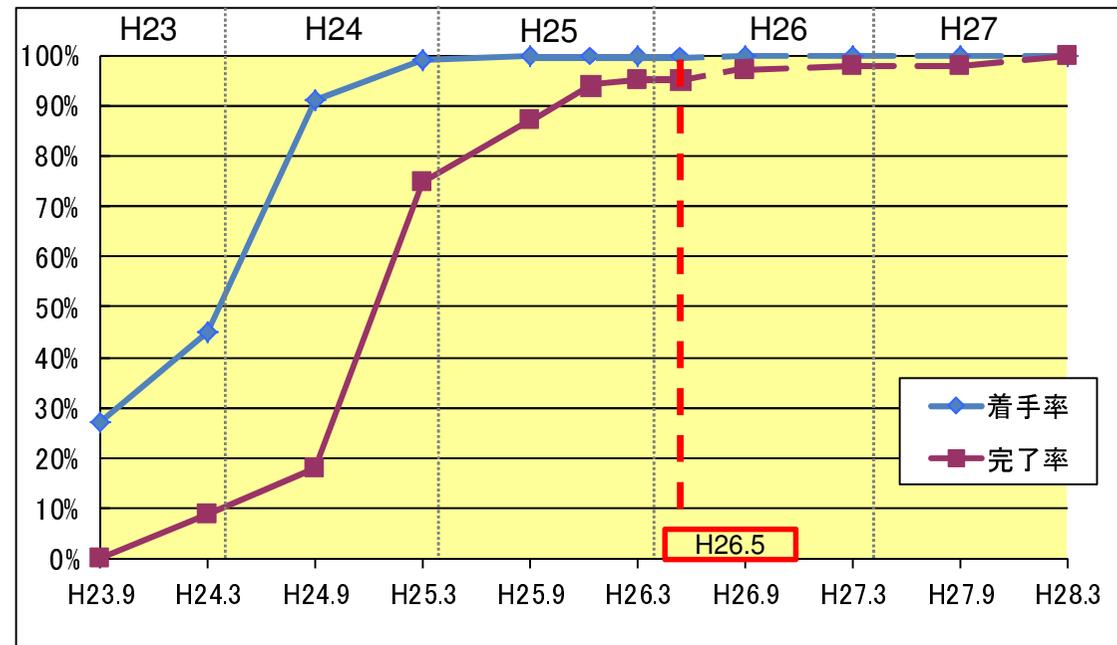
前回以降の完了箇所

- ・国道168号
(十津川村小栗栖)
- ・国道168号
(五條市大塔町辻堂 崩土除去工 鍛冶屋谷付近)
- ・国道168号
(十津川村長殿 積ブロック工 発電所付近)

着手率 100% → 100%

完了率 93% → **95%**

進捗状況(実績と今後の予定・見込み)



※平成26年度継続箇所は、高野天川線、篠原宇井線、国道169号(川上村迫)国道369号(宇陀市榛原内牧)の4箇所と、台風18号影響による国道168号(十津川村長殿、通行機能はH25年度復旧完了)、国道168号(五條市大塔町辻堂)の計6箇所道路災害復旧事業(市町村):158箇所 →完了 152箇所(完了率96%)
(H26.5末現在)

【今後の取組予定】

- ・残り6箇所のうち、平成26年度中に4箇所完了予定(2箇所は平成27年度中に完了予定)

県による復旧・対策状況(道路災害・災害関連)

路線名	箇所	主な工事内容	完成目標	H26年5月末までの進捗状況
国道168号	五條市 大塔町辻堂	橋梁上部工 崩土除去工	26年度	入札不調により発注が遅れたが平成26年8月中の完成を目指して、現在、橋桁を工場において製作中。
国道168号	十津川村 長殿	橋梁工 仮橋撤去工 崩土除去工	26年度	橋梁は平成26年3月28日に復旧完了。 応急組立橋(迂回路)を撤去中。
国道169号	川上村迫	崩壊法面对策工 橋梁工 取付土工 仮橋撤去工	26年度	橋台工(2基)は完了。 橋脚工(2基)を実施中。 上部工は工場において桁製作完了。
国道369号	宇陀市 榛原内牧	排土工 法枠工 アンカー工 吹付工	26年度	平成26年9月の完成に向けて法面工を施工中。
篠原宇井線	五條市 大塔町惣谷	集水井工 横ボーリング工 アンカー工	27年度	補償交渉難航により着手が遅延 伐採工、仮設工を施工中。
高野天川線 (芦ノ瀬)	天川村 南日裏	法枠工 アンカー工 横ボーリング工 橋梁上部工 流路工 他	27年度	平成27年度末の完成を目指し 法面对策工等を施工中。流路 工・橋梁下部工について別途発 注手続き中。



国道168号 十津川村長殿 平成26年3月28日撮影



国道169号 川上村迫 平成26年5月19日撮影



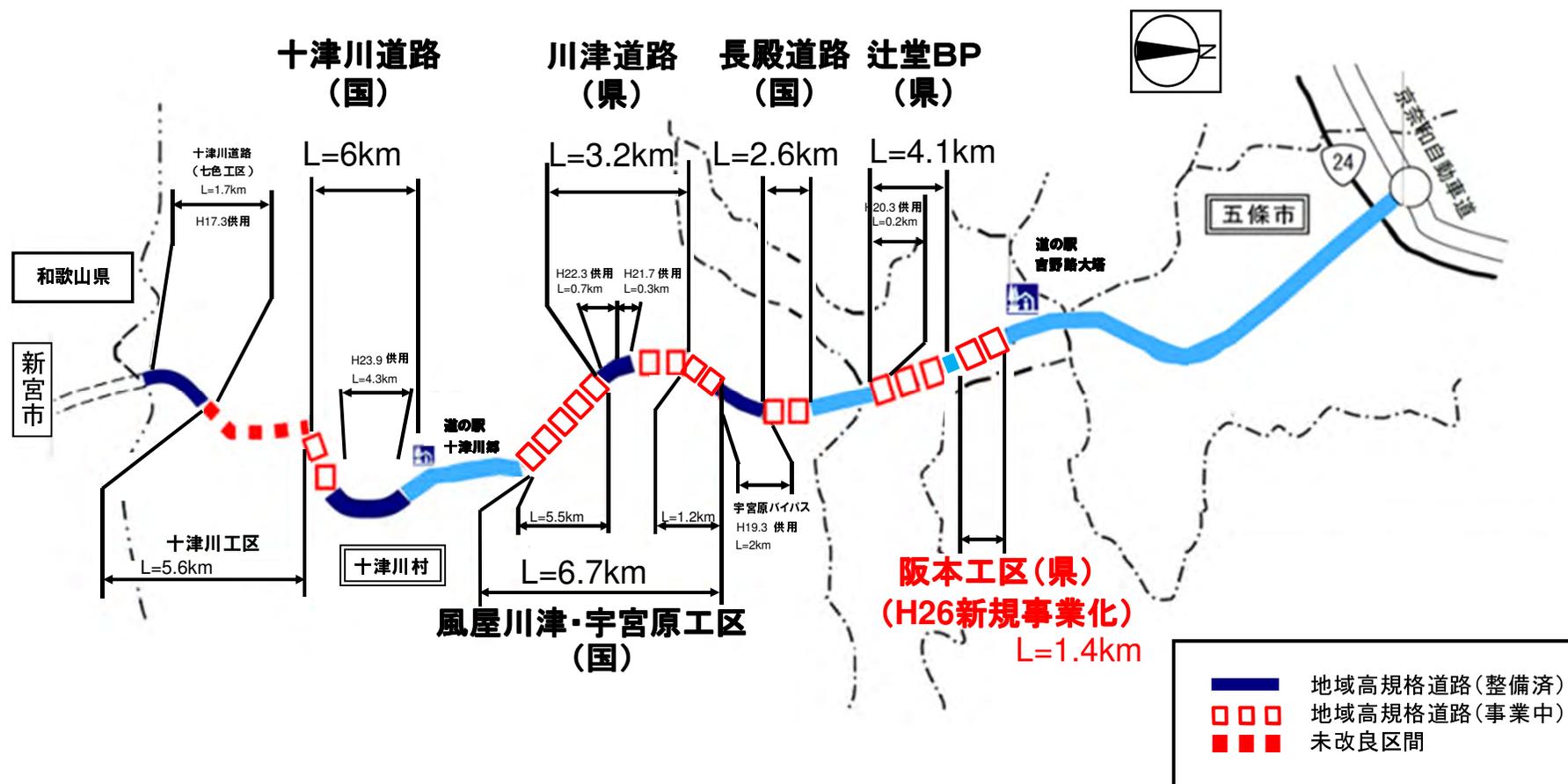
高野天川線 天川村南日裏 平成26年5月16日撮影

◆紀伊半島アンカールート

【これまでの取組成果】

- ・長殿道路(平成24年度)、風屋川津・宇宮原工区(平成25年度)が直轄権限代行により新規事業化
- ・阪本工区(平成26年度)が国庫補助により新規事業化。既存事業区間も、着実に整備を実施中

【紀伊半島アンカールート 国道168号五條新宮道路の進捗状況】



○紀伊半島アンカールートの進捗状況

路線名	箇所	主な工事内容	H26年5月末までの進捗状況
国道168号	十津川道路 (国)	トンネル 3箇所 橋梁 2橋	<ul style="list-style-type: none"> ・H23.9 L=4.3km部分供用(トンネル2箇所、橋梁1橋) ・平成25年度 橋梁工1橋を実施
国道168号	風屋川津・宇宮原工区 (国)	トンネル 5箇所 橋梁 6橋	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度直轄権限代行により新規事業化 ・平成25年度 調査設計を実施
国道168号	川津道路 (県)	トンネル 3箇所 橋梁 2橋	<ul style="list-style-type: none"> ・H21.7 L=0.3km部分供用(橋梁1橋) ・H22.3 L=0.7km部分供用(トンネル1箇所) ・平成25年度トンネル工2箇所、橋梁工1橋を実施
国道168号	長殿道路 (国)	トンネル 2箇所 橋梁 3橋	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度直轄権限代行により新規事業化 ・平成25年度 測量、調査設計を実施
国道168号	辻堂バイパス (県)	トンネル 2箇所 橋梁 10橋	<ul style="list-style-type: none"> ・H20.3 L=0.2km部分供用(橋梁1橋) ・トンネル1箇所、橋梁5橋完了(未供用) ・平成25年度トンネル工1箇所、橋梁工3橋を実施
国道168号	阪本工区 (県)	トンネル 1箇所 橋梁 1橋	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度国庫補助により新規事業化 ・平成25年度 測量、調査設計を実施



十津川道路(平成26年1月6日撮影)
※奈良国道事務所提供



川津道路(平成26年5月27日撮影)



辻堂バイパス(平成26年5月27日撮影)

◆農林業関係の復旧状況

◇農地及び農業用施設

【これまでの取組成果】

- ・農地の復旧事業はすべて完了済み（平成26年5月に完了）
- ・農業用施設の復旧事業はすべて完了済み（平成25年5月に完了）

○農地 復旧箇所一覧

市町村名	箇所数	復旧対象施設
奈良市	4	田
五條市	6	田、畑
宇陀市	9	田
山添村	13	田、畑
曾爾村	3	田
御杖村	13	田、畑
吉野町	3	田、畑
大淀町	4	田、畑
天川村	5	田、畑
野迫川村	6	田、わさび田
十津川村	6	田、畑
東吉野村	2	田、畑
合計	74	-

○農業用施設 復旧箇所一覧

市町村名	箇所数	復旧対象施設
五條市	2	ため池、農道
宇陀市	9	農道、水路
山添村	10	農道、水路
御杖村	7	農道、水路
明日香村	1	水路
大淀町	2	ため池、農道
野迫川村	2	ため池、農道
十津川村	1	水路
東吉野村	1	農道
合計	35	-

わさび田の復旧(野迫川村)



被災直後(平成23年9月20日撮影)

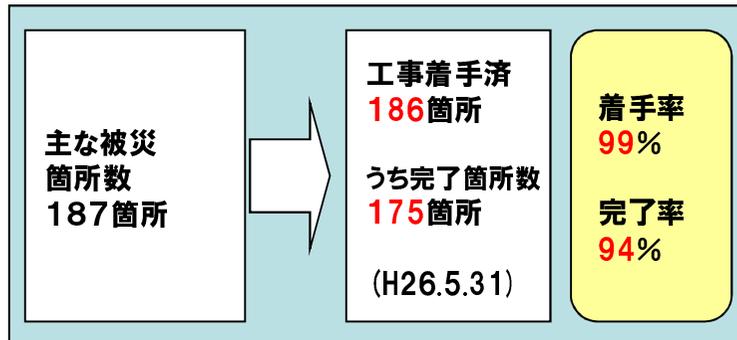


復旧完了(平成26年5月28日撮影)

◇林道

【これまでの取組成果】

主な被災箇所187箇所のうち、175箇所が完了（平成26年5月末現在）



【前回(2月)との比較】

工事着手済 180箇所 → 186箇所

前回以降の主な着手箇所

〔十津川村 奥千丈線2号箇所
天川村 殿野坪内線6号箇所〕

うち完了 162箇所 → 175箇所

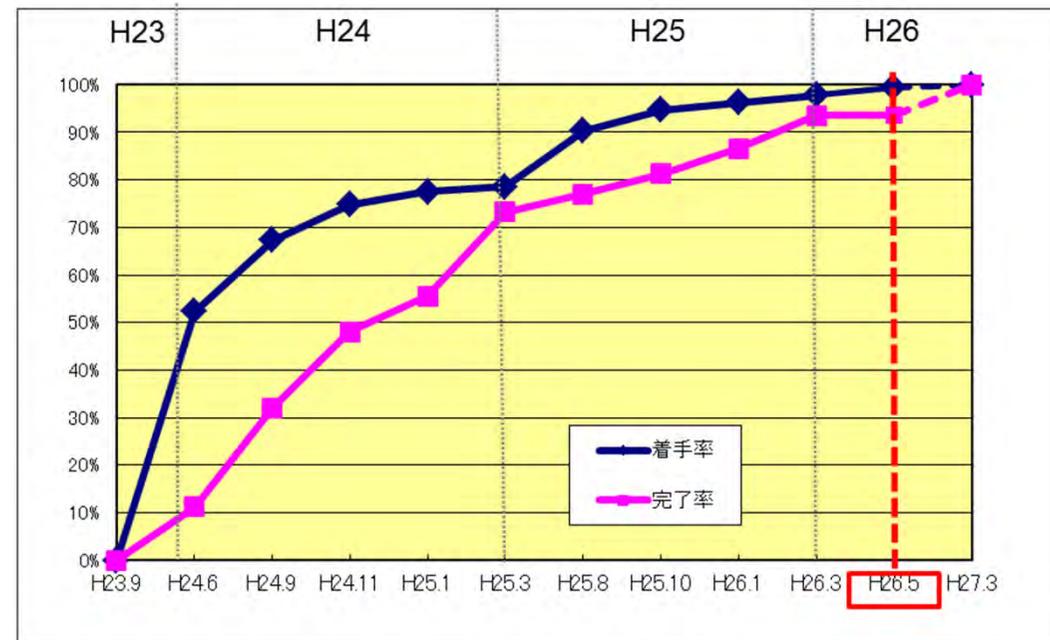
前回以降の主な完了箇所

〔十津川村 果無谷線3号箇所
野迫川村 ホラ谷立里線3号箇所〕

着手率 96% → 99%

完了率 87% → 94%

進捗状況(実績と今後の予定・見込み)



【今後の取組予定】

- ・未復旧の12箇所について、平成26年度末までに完了予定

林道災害箇所への復旧・対策状況

路線名	箇所	主な工種	完成目標	H26年5月末までの進捗状況
山崎谷線 7号箇所	十津川村 山崎	・路側擁壁工 ・舗装工	H26年6月	・擁壁工完了 ・舗装工完了
川津今西線 4号箇所	十津川村 今西	・路側擁壁工 ・土工	H26年9月	・土工施工中 ・擁壁工施工中 ・法面保護工施工中
川津今西線 5号箇所	十津川村 今西	・路側擁壁工 ・舗装工	H26年6月	・土工ほぼ完了 ・擁壁工一部施工中 ・法面保護工施工中 ・構造物取壊し工施工中
川津今西線 6号箇所	十津川村 今西	・路側擁壁工 ・舗装工		
奥千文線 2号箇所	十津川村 杉清	・路側擁壁工 ・舗装工	H26年7月	・土工施工中 ・構造物取壊し工準備中
小井谷線 1号箇所	十津川村 杉清	・路側擁壁工 ・排水施設工	H26年7月	・土工施工中 ・擁壁工施工中
小井谷線 4号箇所	十津川村 杉清	・路側擁壁工 ・土工		
コノ谷線 3号箇所	野迫川村 平	・路側擁壁工 ・土工	H26年9月	・土工施工中
コノ谷線 4号箇所	野迫川村 平	・路側擁壁工 ・土工		
コノ谷線 5号箇所	野迫川村 平	・路側擁壁工 ・土工		
桑の谷線 2号箇所	天川村 栢尾	・切土工 ・舗装工	H27年3月	・発注準備中
殿野坪内線 6号箇所	天川村 坪内	・路側擁壁工 ・舗装工	H26年12月	・工事準備中



林道山崎谷線(舗装工完了)平成26年5月27日撮影

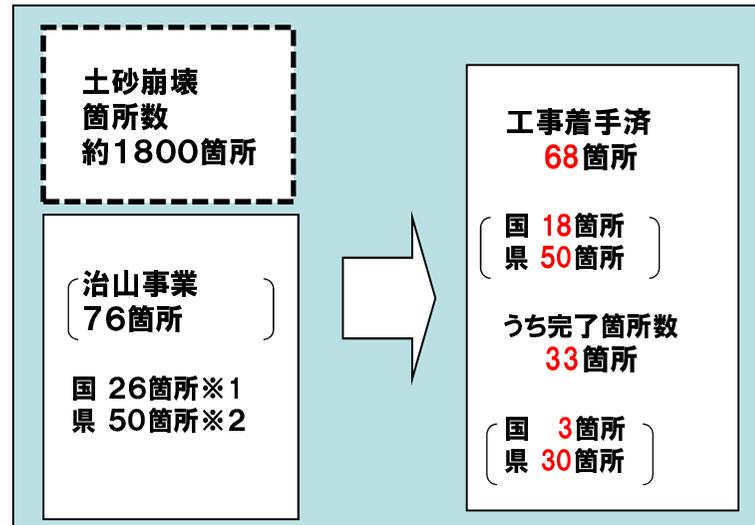
林道川津今西線5・6号(擁壁工施工中)
平成26年5月27日撮影

林道コノ谷線(床掘中)平成26年5月27日撮影

◇治山事業での林地崩壊の復旧状況

【これまでの取組成果】

治山事業も、順次実施中（68箇所にて工事着手済み、うち33箇所にて工事完了）
（平成26年5月末現在）



※1 国の事業箇所は、十津川地区民有林直轄治山事業全体計画に基づく箇所数（H23年度から33年度まで順次対応（計画は次ページ））

※2 県の事業箇所は、H25当初予算までの対応予定箇所
H26の新規箇所は11箇所（H27以降の箇所数は未定）

前回(2月)以降の主な着手箇所

〔 無し 〕

前回(2月)以降の主な完了箇所

〔 十津川村猿飼
十津川村山手柏谷 〕

○主な県の治山工事の状況

十津川村 （猿飼地区）

- 工事状況
- ・平成25年度に谷止工を施工
 - ・平成25年度で事業完了

着手前



着手前 平成25年9月17日撮影

現状



平成26年3月28日撮影
谷止工(完成)

川上村 （高原地区）

- 工事状況
- ・平成23年～25年度に谷止工を施工
 - ・平成26年度以降も引き続き谷止工実施予定

着手前



着手前 平成25年9月20日撮影

現状



平成26年3月26日撮影
1号谷止工(完成)

○主な国の治山工事の状況

※ 国事業は「十津川地区民有林直轄治山事業全体計画」に基づく事業

[施工例] 十津川村野尻(野尻地区)

○工事状況

- ・平成23年民有林直轄治山災害関連緊急事業により対策工事を実施
- ・平成24年、25年度 民有林直轄治山事業実施
- 26年度も継続して事業実施



3号谷止工施工中 平成24年11月7日現在

現状



1号谷止工 完成 平成26年4月17日現在

【直轄治山事業】 十津川地区 施工予定期間

※H26.3月時点の計画（変更後の計画）。工事の進捗状況により今後の施工期間の変更の可能性あり。

地区番号	地区名	箇所名	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	事業実施年度	地区内の主な工種
①	宇宮原区域	テラ谷												H23~H28	溪間工12基、山腹工6.01ha(2箇所)
		濁谷												H24~H33	
②	長殿区域	長殿谷												H29~H33	山腹工2.17ha(1箇所)
③	内野区域	山天												H23~H27	溪間工8基、山腹工3.35ha(2箇所)
		内野												H23.24、H26~30	
④	上野地区区域	河津谷												H24	溪間工3基、山腹工2.11ha(2箇所)
		高津谷												H23~H29	
⑤	西川区域	今西												H26~H33	溪間工4基、山腹工1.10ha(1箇所)
⑥	神納川区域	小井谷												H24	溪間工7基、山腹工4.05ha(4箇所)
		五百瀬1												H23~H33	
		三田谷												H27~H30	
		五百瀬2												H23~H28	
⑦	旭区域	宮谷											H27~H33	溪間工2基、山腹工1.70ha(1箇所)	
⑧	野尻区域	野尻												H23~H33	溪間工8基、山腹工3.88ha(4箇所)
		山崎谷1												H25~H27	
		山崎谷2												H27~H29	
		山崎谷3												H28~H32	
⑨	折立区域	折立											H23~H27	山腹工1.14ha(1箇所)	
⑩	堂平区域	堂平											H23~H30	山腹工3.35ha(ファン-工、集水林・リンク工)	
⑪	赤谷区域	赤谷a												H29~H33	山腹工10.08ha(2箇所)
		赤谷b												H25~H28	
⑫	天川区域	川合												H23~H25	溪間工7基、山腹工6.30ha
		坪内												H23~H28	
⑬	野迫川区域	栃尾												H23~H28	溪間工1基、山腹工3.70ha(2箇所)
		北股												H29~H33	
計	13区域	檜股												H23~H28	26箇所

【今後の取組予定】

- ・ 県は、多数の林地崩壊箇所のうち、緊急度・重要度の高い箇所（川上村高原地区など）を優先的に選定し、早期に対策を実施
- ・ 国は、十津川地区民有林直轄治山事業全体計画に基づき、対策工事を実施

◇第34回全国豊かな海づくり大会～やまと～

ゆたかなる 森がはぐくむ 川と海

○大会の概要

- 主 催 豊かな海づくり大会推進委員会
第34回全国豊かな海づくり大会
奈良県実行委員会
- 開催日 平成26年11月15日(土)、16日(日)
- 開催場所 大淀町、川上村、五條市、橿原市
- 行事事場 式典行事(大淀町文化会館あらかしホール)
放流・歓迎行事(川上村おおたき龍神湖)
放流行事(吉野川大川橋下流河川敷)
関連行事(JAならけんまほろばキッチン)

これまでの取り組み

- 奈良県実行委員会の設立
- 1年前イベントの開催
(五條市、橿原市、川上村)
- リレー放流の実施
- 大会テーマの募集
- 大会弁当コンテストの実施
- 作品(作文・絵画・習字)
コンクールの実施
- 機運醸成・PR活動 等



第11回リレー放流
(野迫川村北股川 平成26年5月2日)

【今後の取組予定】

- 111日前イベントの実施(イオンモール橿原 7月27日)
- 1ヶ月前リハーサルの実施 等



大会公式ポスター

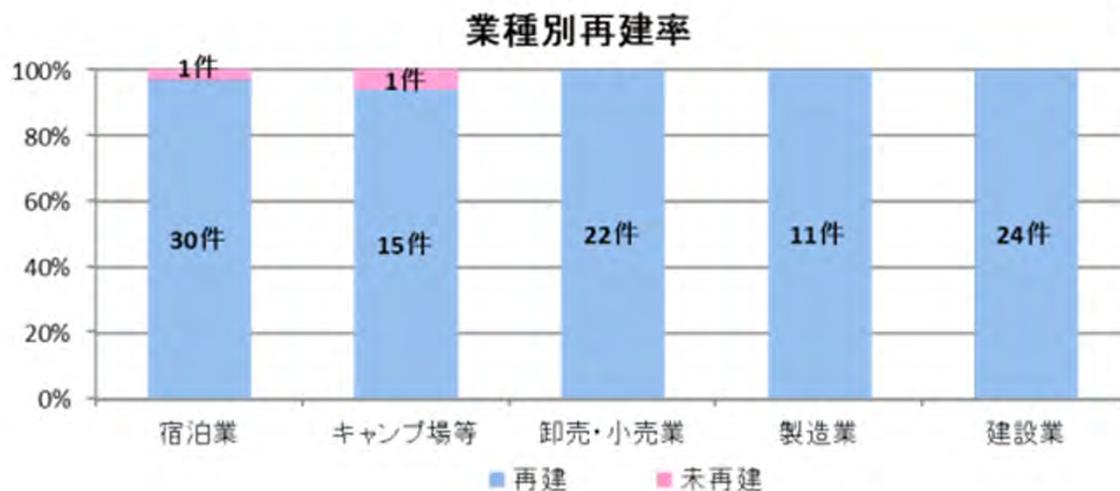
◆産業の復興状況

【これまでの取組成果】

- 企業の再建率 再建意欲のある事業所の98%が事業再開（平成26年5月30日現在）
- 資金貸付実績 172件 約47億円（被災直後～平成26年4月末実績）
- 物産展の開催、出展を支援 平成25年度 9市町村の取組を支援

再建状況調査

- 再建意欲のある被災中小企業者等の**98.1%**（前回は97.1%）は事業を再建。
- 業種別では、卸売・小売業、製造業、建設業は100%再建。



H26.5.30現在

被害 件数A	再建 業者数B	廃業C	再建率 $\frac{B}{A-C}$
122	102	18	98.1%

※再建事業者数には、一部再建を含む
 ※廃業の理由：経営者等の死亡4件、施設・設備の修復を断念10件、高齢による4件



H26.5.30 現地ヒアリング調査(野迫川村)

災害復旧対策資金貸付

○貸付実績(H23年11月～H26年4月)

件数 **172件** 貸付額 **4,697百万円**

(前回報告(H25年12月末実績)以降の新規貸付が1件)

○被災中小企業者等による資金の借入れが進み、H24年7月以降の新規貸付は減少

○貸付実績の多い業種 土木建築等 50.6% 旅館・ホテル12.8%

被災地域の物産販売促進支援

物産展等の開催経費を市町村に対し支援

○平成26年度 執行予定額 10,949千円

- ・実施市町村 1市2町7村(五條市・吉野町・下市町・黒滝村・天川村・野迫川村・十津川村・上北山村・川上村・東吉野村)

・出展する主な物産展

- H26.9.21～23 世界遺産10周年記念奈良吉野路観光と物産フェア(東京都)
- H26.10.5 なんゆう祭2014(五條市)
- H27.3中旬 旅まつり名古屋2015(名古屋市)



「旅まつり名古屋2014」での物産展
(H26.3.15～16)

【今後の取組予定】

融資制度を継続するとともに、物産販売促進支援も引き続き実施し、被災事業者の事業再建を支援

台風12号災害復旧対策資金

融資枠 500,000千円 貸付限度額 設備 80,000千円 運転 80,000千円
貸付利率 1.000% 貸付期間 10年(うち1年据置)

被災地域の物産販売促進支援事業

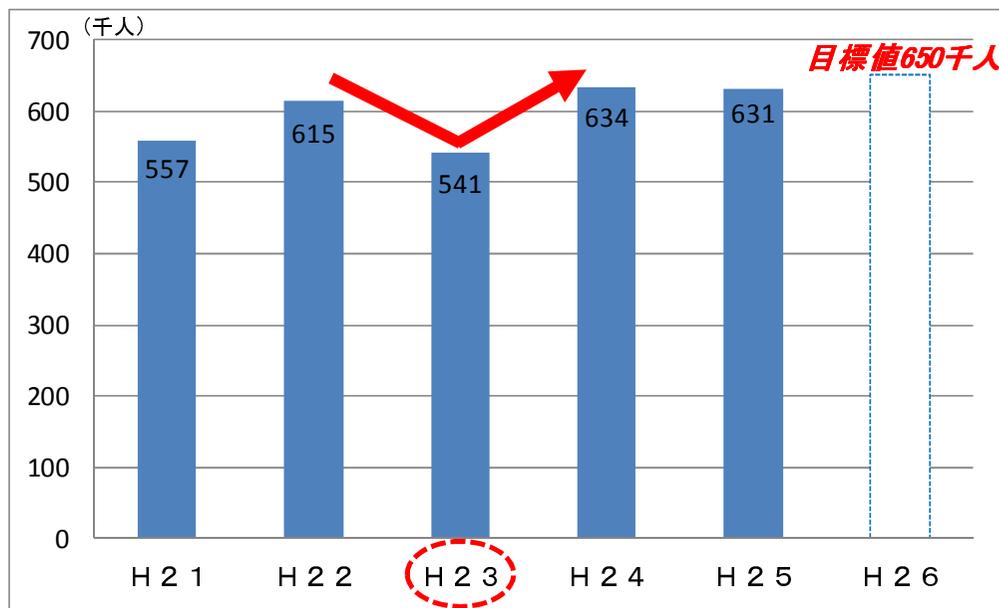
H26年度は集中復旧・復興期間の最終年度にあたることから、その集大成として 本事業を実施し、紀伊半島大水害からの復興をアピールする。そのため県内、東京、名古屋において被災地市町村が共同して出展する。

◆観光業の復興状況

【これまでの取組成果】

- 観光プロモーション、プレミアム宿泊旅行券発行、南部地域での会議の開催支援などの取組を実施
- こうした取組の効果などにより、平成24年の宿泊客数は、目標としていた被災前（平成22年）の宿泊客数を上回り（3%増加）、平成25年も同水準を維持

宿泊客数の動向(南部・東部地域)



紀伊半島大水害発生
(H23年9月)

※県南部・東部地域の宿泊客は、被災直後の平成23年9月～11月に大きく減少

南部地域観光キャンペーン(関西国際空港)



十津川村の足湯イベント(JAならまほろばキッチン)

○観光の復興への取組状況

(1) 南部地域の情報発信拠点としての「JAならけんまほろばキッチン」内、観光案内所

○コンシェルジュの配置。電子機器を活用し、人対人の対応による旬の観光情報を提供

(オープン時から1年間の利用者45,511人(H25.4.14~H26.4.13))

○市町村等との連携イベント開催

(12市町村等と連携し7回開催、参加者14,000人)

(2) プレミアム宿泊旅行券の発行

H25年度 6市町村参加 23,000枚発行

H26年度 8市町村参加 25,200枚発行予定

※五條市、吉野町、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村
(野迫川村、上北山村はH26年度より発行)

(3) 南部地域での会議等開催支援

H25年度 受付:73件 宿泊人数:6,554人

H26年度 5月末まで受付分:15件 宿泊予定人数:1,505人

(4) 観光プロモーション等

○京阪神エリア、中京圏におけるPR(食博覧会・大阪など)

○各種媒体での特集ページの掲載(旅行雑誌「じゃらん」など)

○動画「美しき日本」制作・配信 約3分×1本(H25制作分)

○東京駅デジタルサイネージ広告の制作・掲出

掲出期間:H26年3月1日~4月30日

(5) スポーツを核とした観光振興

○「小辺路トレイルジャーニー」の実施支援(参加者100人)

○南部地域におけるサイクルスポーツイベント開催支援(参加者1,185人)

○アウトドアスポーツ体験事業[カヌー](参加者204人)

○紀伊半島三県クラブスポーツ大会の開催(参加者104人)



プレミアム宿泊旅行券パンフレット



東京駅デジタルサイネージ広告

【今後の取組予定】

スポーツイベントを活用した誘客促進

Kobo Trail 2014(6月)
山岳グランfondin吉野(10月)
ヒルクライム大台ヶ原since2001(9月)
カヌーフェスティバル(10、11月)
紀伊半島三県クラブスポーツ大会(11月)
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を巡るサイクリング事業
(9月～平成27年1月)
シー・トゥー・サミット & 環境フェスティバル開催検討事業
小辺路等活用ツアーイベント事業(11月)



トレイルランニング(十津川村)



観光プロモーション(中部国際空港)

観光案内所における観光情報提供

「JAならけんまほろばキッチン」内で、市町村等との連携イベント等を開催

観光プロモーション

雑誌、インターネット、スマートフォン対応アプリなどを活用した情報発信を実施

南部宿泊観光PR事業

市町村が発行するプレミアム宿泊旅行券に対する助成、観光プロモーションの実施

◆福祉の充実

【これまでの取組成果】

- ・五條市大塔町、十津川村において、山間地域における地域包括ケアの実現に向けたモデル事業を実施
 - 大塔町：高齢者の見守りや配食サービス等の生活支援がスタート
 - 十津川村：高齢者実態把握調査を実施し、高齢者向け福祉施設の在り方について検討
- ・シンポジウムの開催等を通じて、モデル事業の取組内容を他地域へ普及
- ・避難者のこころの不調の予防とケアを行うため、臨床心理士を派遣（84回・対象者延べ185名）

○モデル事業

(1)五條市大塔町

地域住民や関係団体、行政等による地域検討会「おおとう元気会議」が立ち上がり、地域で暮らし続けるための仕組みづくりとして、様々な取り組みが広がる

- ・郵便局や消防分署が高齢者の見守りに参画、避難者の一時帰宅を学生ボランティアが支援
- ・財団法人大塔ふる里センターによる配食サービス開始、大塔支所による買い物バスツアー実施
- ・「地区別懇談会」を実施し、災害時の避難方法等について検証 等

(2)十津川村

復旧・復興のための庁内検討会議「活力と魅力あふれる村づくり推進委員会」設置

→H25年8月に実施した高齢者実態把握調査を通じて、提案された高齢者向け福祉施設について検討

配達時に
声かけ・見守り



郵便局による高齢者の見守り

○モデル事業の他地域への普及

- ・シンポジウムを開催し、「おおとう元気会議」の取り組みを紹介（参加者約120名）（H25.11.3）
- ・地域包括支援センター長・市町村担当課長合同会議で、「おおとう元気会議」の取り組みを紹介（H26.5.27）

○臨床心理士の派遣

- ・住民、行政職員向けのカウンセリング、コンサルテーションを実施

（H23年度からH25年度までの実績：五條市27回・延べ46名、天川村21回・延べ40名、野迫川村18回・延べ48名、十津川村18回・延べ51名）

【今後の取組予定】

- ・「おおとう元気会議」において、地区ごとの防災対策や高齢者の交流・引きこもりの防止等について検討
- ・十津川村「高森集落づくり推進委員会」、「活力と魅力あふれる村づくり推進委員会」において、高齢者向け福祉施設について検討
- ・地域包括支援センター連絡会、市町村担当課長会議等を通じて、「おおとう元気会議」の取組を報告し他地域へ普及
- ・臨床心理士の派遣においては、仮設住宅から自宅や復興住宅等に帰宅した住民のこころのケアのため、市村の保健師に対するコンサルテーションに力を入れ、きめ細かな相談体制を構築・実施

◆新しい集落づくり

【これまでの取組成果】

- ・十津川村において、今後のモデルとなる安心拠点集落として谷瀬地区と高森地区を選定
- ・集落づくりを組織横断的に進めるため、役場内に「活力と魅力あふれる村づくり推進委員会」を設置
- ・谷瀬地区と高森地区に、景観に馴染んだ復興住宅を建設
- ・モデル的な集落拠点整備として、「やりがい・生きがい『谷瀬』プロジェクト」および「助け合い・支え合い『高森』プロジェクト」における取組の具体的な検討

やりがい・生きがい『谷瀬』プロジェクト

「集落が一体となって、やりがい・生きがいが見られる場をつくる」

■交流活性化事業(H26.3～)

- ・新たな滞在プランづくり、誘客イベントの企画・実施
- ・移住・定住に向けた仕組みと受入体制の整備、空き家改修等による交流拠点施設の検討など

■特産品開発事業(H26.3～)

- ・先進地の取組(加工所・農産物販売所など)の導入
- ・新たな農産物加工品等の開発など

■受入環境整備事業(H26.3～)

- ・沿道の花植、案内看板作成設置、遊歩道の整備など



谷瀬集落
「新しい集落
づくり」の
風景イメージ

助け合い・支え合い『高森』プロジェクト

「村に最期まで住み続け、助け合い支え合う住まい方モデルを実現する」

■助け合い・支え合い「高森のいえプロジェクト」事業(H26.4～)

- ・特別養護老人ホームと連携した「高齢者向け施設」等の整備検討
- ・施設の運営・管理主体のあり方についての検討
- ・「高齢者向け施設」等とともに、集落内外からの人もくつろげる集落空間の構築検討



高森集落
「高齢者向け
施設」等の
風景イメージ

◆安全・安心への備え

◇深層崩壊のメカニズム解明と対策研究

【これまでの取組成果】

- ・深層崩壊研究会（座長：京都大学 藤田教授）における検討
- ・「紀伊半島大水害 大規模土砂災害アーカイブ」ホームページの開設（平成24年10月5日）
- ・「深層崩壊のメカニズム解明に関する現状報告（平成25年6月版）」の公表
- ・国際防災学会インタープリメント2014のプレイベントの開催（平成25年9月5日）

○深層崩壊に関する講演

- ・全国治水砂防促進大会（主催：全国治水砂防協会）において、荒井知事による特別講演「平成23年紀伊半島大水害における深層崩壊の解明と復旧・復興対策について」（H25. 11. 19）
- ・五條市自主防災会議において、各地区の自主防災組織の代表者を対象に、深層崩壊のメカニズムを講演（H26. 4. 23）
- ・県内小学校・中学校・高等学校等の教員対象の研修会において、深層崩壊を含む土砂災害について講義（H26. 5. 1）



自主防災組織への深層崩壊に関する講演状況
（五條市）

◇監視・警戒・避難のシステムづくり

【これまでの取組成果】

- ・大規模土砂災害監視・警戒・避難システム検討会※における検討
（※学識者、国、県（奈良、三重、和歌山）、五條市、天川村、野迫川村、十津川村が主要な参加メンバー）
- ・3つのモデル地区を設定し、大規模土砂災害を想定した総合的な防災システムの検討
- ・深層崩壊セミナーを開催（参加者 約200名）（平成25年11月22日）
- ・「奈良県深層崩壊マップ（案）」（市町村版及び地域版）の検討

○モデル地区の取組の他地域への展開

- ・県南部地域の自治体に、作成中の「奈良県深層崩壊マップ（案）」などに関する取組内容を説明し、意見交換を実施（H26. 4～5月）

地域防災力向上への取り組みの一例(イメージ)

深層崩壊の危険な範囲を示す資料の作成

どの辺りが危ないのか?

マップの意味? どう使う?



深層崩壊マップ〔市町村版〕



解説資料
マップの使い方

警戒避難行動を話し合うための資料の作成

地域の話し合いの進め方

事例:何を話して、何を決めたのか



マップの作成・利活用
ガイドライン



モデル地区での検討事例集



【今後の取組予定】

- ・大規模土砂災害監視・警戒・避難システム検討会(第10回)を開催(平成26年6月12日)
- ・11月24日に、「国際防災学会インタープリバント2014奈良大会」の県主催の関連イベント(セミナー等)を開催
- ・11月25～28日に、「国際防災学会インタープリバント2014奈良大会」を開催
- ・平成26年度末に、深層崩壊メカニズムの研究成果、監視・警戒・避難システムづくりに関する最終報告

◇災害時のライフライン(電気・通信等)の強化

【これまでの取組成果】

- ・避難所の機能強化（非常用電源の整備129箇所、衛星携帯電話の整備83台増加など）
- ・消防防災ヘリコプターテレビ電送システムの整備 など

◇記録の整備、次世代への継承

【これまでの取組成果】

- ・災害記録誌『紀伊半島大水害の記録』を発行（平成25年3月）
- ・災害記録誌『歴史から学ぶ 奈良の災害史』等を発行（平成26年3月）
- ・防災教育教材『「災害から身を守る」紀伊半島大水害の記録』（DVD）を作成（平成26年3月） など



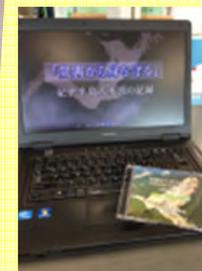
「紀伊半島大水害の記録」



「歴史から学ぶ 奈良の災害史」



防災教育教材DVD



【今後の取組予定】

災害時のライフラインの強化

- ・非常用電源の確保等（避難所の非常用電源や衛星携帯電話等の整備の推進など）
- ・施設・設備の強化（通信線・送配電線の複数ルート化や設備の強化など）
- ・防災行政無線の整備（県防災行政無線の再整備及び市町村防災行政無線の整備）

記録の整備、次世代への継承

- ・『奈良の災害史』発行記念イベント（講演会、パネル展）の実施（9月予定）
- ・災害種別ごとの防災の日・防災週間（7～9月）の周知・浸透

○市町村地域防災計画見直しの支援

【これまでの取組成果】

奈良県地域防災計画の見直し（平成26年3月）

○目的

- ・災害対策基本法の改正や、奈良県地域防災計画の見直し等を踏まえ、県内市町村の行う地域防災計画の見直しを支援する。

○具体的な支援内容(テーマ)

- ・避難勧告等に関する具体的な発令基準の作成
 - ・指定緊急避難場所、指定避難所の指定
 - ・住民参加型の防災訓練の実施 等
- …主に「**住民避難**」に関する支援を実施

住民参加型避難所訓練



【今後の取組予定（事業の進め方）】

各市町村の課題を現地調査・ヒアリング等により把握

4～5月

災害種別ごとにモデル市町村数箇所を設定

6月

庁内関係課室や国の機関等と連携し、モデル市町村に出向いた積極的支援

6月～

モデル事例集を今年度内にとりまとめ、市町村計画の見直しに活用

～平成28年3月

◆地域産業復興の取組

【これまでの取組成果】

- ・なんゆう祭（南部地域産業復興推進大会）の開催（平成25年11月23、24日）延べ4,950人参加
- ・市町村の意向を踏まえ、今後重点的に検討・推進する事業テーマを設定し、市町村と連携して具体的な事業を展開中。（農産品等による6次産業化の推進（下北山村の春まな）、有害鳥獣の駆除及び活用（上北山村加工施設整備）など）

○なんゆう祭2014

地域住民や県、市町村、団体等の連携・協力のもと、奈良県南部東部地域の活性化を図ることを目的に開催

- ・地域特産品等の物産展の開催
- ・特産品の開発と地域の魅力の発掘、創造
- ・地域の風土、歴史、文化などの魅力の発信

吉野川河川敷会場イメージ



H25年度なんゆう祭（川上村）

◎開催日 平成26年10月5日(日)(前夜祭4日(土))

◎開催会場 メイン会場「吉野川河川敷」(五條市)

◎開催内容

・前夜祭（4日）15:00～19:30

おもてなしライブ、地元物産品展

・当日祭（5日）10:00～16:00

南部東部地域市町村等物産品展

第34回全国豊かな海づくり大会PRブース

ステージ（小学生金管バンド、市町村PR等）

ゴムボート遊び体験、やな漁体験

サテライト会場周遊

（新町通り、藤岡家住宅、柿・梨収穫体験、五新鉄道跡等）

◎実施主体

南部東部地域活性化イベント開催協議会

（奈良県、南部東部地域の19市町村、ならコープ等で構成）

◎来場見込者数：20,000人

◆ふるさと復興協力隊

【これまでの取組成果】

- ・復興活動、地域協力活動、地域おこし活動などに従事する人材を県が直接採用し、市町村に配置
17名配置（平成26年6月1日現在）
- ・隊員向け研修会の実施（4回・延べ67人受講）

配置済の隊員の主な業務

五條市	3名	仮設住宅入居者などの生活支援等
宇陀市	2名	観光振興支援、鳥獣害対策等
高取町	1名	イベント企画運営等
下市町	1名	集落点検事業支援、地域情報の発信等
黒滝村	1名	農産物の生産・加工支援等
天川村	1名	特産品の商品化・発掘販売促進支援等
野迫川村	2名	「のせ川のまき」を使った産業振興支援、 観光情報の発信・誘客支援等
十津川村	1名	木彫り・木工指導等
上北山村	3名	村おこしメニュー造成、村情報の発信、 鳥獣害対策・獣肉加工支援等
下北山村	2名	地域特産物の生産販売支援等



隊員が企画したイベントの様子（上北山村）
（第1回大台ヶ原マラソンinかみきた）
平成26年5月11日撮影

【今後の取組予定】

- ・ふるさと復興協力隊配置
引き続き、南部・東部地域の市町村に「ふるさと復興協力隊」を配置（25名予定）
- ・ふるさと復興協力隊等定住支援
協力隊の任期（3年間）終了後の定住を支援するための方策を検討